

私たちのまちの家計簿

平成21年度各会計決算から見る町の財政事情

平成21年度和水町決算

平成21年度の町の決算が9月の町議会で認定されました。平成21年度に町にどれくらいのお金が入ったのか、また町はどのくらいお金を使ったのか報告します。

【和水町の3つの財布】

町のお金を出し入れするため、3つの財布を用意しています。通常出し入れするお金は「一般会計」という財布、そして「特別会計」、「公営企業会計」という財布は、特定の事業のために使うお金を出し入れするためのもの。 「特別会計」という財布の中も、病院事業や下水道事業などという12の仕切りで分かれていて、それぞれの目的

外には使わないことになっています。

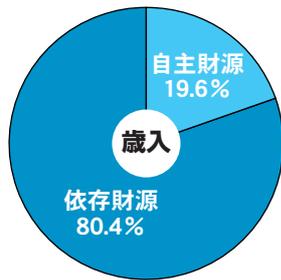
【プラス決算の一般会計】

まずは「一般会計」の財布から出し入れしたお金について説明しましょう。平成21年度に入ってきたお金(歳入)は70億8,879万円、そこから使ったお金(歳出)は66億2,593万円でした。差し引き4億6,286万円、そのうち平成22年度へ事業を繰り越して使うお金を差し引いた実質的な収支は、3億8,603万円のプラスとなりました。

【歳入の19%が自主財源】

入ってくるお金(歳入)の中は2つの財源で成り立っています。

自主財源と
依存財源の割合



では、新しい年度が始まる前に「当初予算」を組みます。目的ごとに細かく決められた当初予算によって支出されるわけです。平成21年度の一般会計の歳出

す。町が自らの手で徴収できるお金が自主財源で、国や県から入るお金や借金で賄うのが依存財源です。割合を見てみると、町税や使用料などの自主財源が19.6%、地方交付税や国や県の支出金・町債(借金)などの依存財源が80.4%でした。町

一般会計の財布

項目	金額
入ってきたお金(歳入)	70億8,879万円
使ったお金(歳出)	66億2,593万円
差し引き額	4億6,286万円
平成22年度に繰越して使うお金	7,683万円
実質収支	3億8,603万円

町税の内訳

税目	収入額
町民税	個人 2億8,943万円
	法人 3,594万円
固定資産税	4億5,061万円
軽自動車税	3,539万円
町たばこ税	4,042万円
入湯税	432万円
合計	8億5,611万円

町が使ったお金は66億2,593万円で、最も多いのが民生費、次に総務費、土木費、公債費の順となっています。この額を人口で割ると、一人当たりに使われたお金は約60万円となります。

なるほど!?

財政用語辞典



決算

一般会計年度の歳入歳出予算の執行実績。

歳入

会計年度におけるいっさいの収入。

歳出

会計年度におけるいっさいの支出。

自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源。地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入。

依存財源

国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりするもの。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税など。

基金

特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金又は財産。その目的によって、順次積み立てていくもの、定額を運用していくものなどがあります。

起債(地方債)

施設整備等(下水道や学校、道路など)のために年度を越えて長期(1年以上)に借り入れるお金を「起債(地方債を起すこと...借金)」という。学校や道路、施設などは将来にわたって継続して利用することができ、今の世代と次の世代の税金で建設費用を返済するという形で分担してもらう効果がある。家計に例えると、家を建てる際に大きな金額を一度に支払えないため、場合によっては子供と二世帯でローンを組んで長期に返済する行為といえます。

歳出 66億2,593万円

歳入 70億8,879万円

・一般会計の歳入から歳出を差し引いた額は4億6,286万円。この額から平成22年度に事業を繰越して使う金額を引いた実質的収支額は3億8,603万円となります。

議会費
8,863万円 (1.3%)

商工費
1億3,577万円 (2.1%)

総務費
13億5,144万円 (20.4%)

民生費
13億9,556万円 (21.1%)

衛生費
7億5,623万円 (11.4%)

農林水産業費2億7,423万円 (4.1%)

土木費
9億1,505万円 (13.8%)

消防費2億4,490万円 (3.7%)

教育費
5億7,432万円 (8.7%)

公債費
8億5,026万円 (12.8%)

地方譲与税
8,259万円 (1.2%)
 利子割交付金
274万円 (0.0%)
 配当割交付金
64万円 (0.0%)
 株式等譲渡所得割交付金
28万円 (0.0%)
 地方消費税交付金
1億1,679万円 (1.7%)
 ゴルフ場利用税交付金
1,253万円 (0.2%)
 自動車取得税交付金
1,727万円 (0.2%)
 地方特例交付金
1,506万円 (0.2%)
 交通安全対策特別交付金
242万円 (0.0%)

分担金及び負担金
5,808万円 (0.8%)
 使用料及び手数料
4,705万円 (0.7%)
 財産収入
1,461万円 (0.2%)
 寄付金
74万円 (0.0%)
 繰入金
5,671万円 (0.8%)
 繰越金
3億1,602万円 (4.5%)
 諸収入
3,880万円 (0.5%)

国庫支出金10億1,297万円 (14.3%)

県支出金4億16万円 (5.6%)

町債
6億5,130万円 (9.2%)

地方交付税
33億8,591万円 (47.8%)

町税
8億5,611万円 (12.1%)

依存財源比率
80.4%

自主財源比率
19.6%

歳出決算額は前年度と比べて6.5%の増です。高齢化による民生費の増加に加え、国の地域活性化対策により農林水産業費、観光費及び土木費が増加しています。総務費、消防費、公債費は減少となりました。

歳入決算額は前年度と比べて8.4%の増です。国の地域活性化対策として実施された経済危機対策臨時交付金事業やきめ細かな臨時交付金事業により国庫支出金が大幅に増加、また、経済不況の影響により町税などは減少しています。

町民一人当たり換算 (平成22年3月31日現在 人口11,708人で計算)



町民一人に使われたお金 **605,466円**



町民一人が支払った町税 **73,121円**

性質別に見た歳出

義務的経費	
人件費	11億3,420万円
扶助費	5億7,126万円
公債費	8億5,026万円
消費的経費	
物件費	6億8,485万円
維持補修費	1,524万円
補助費	9億8,763万円
投資的経費	
普通建設事業費	11億7,778万円
災害復旧事業費	3,954万円
その他経費	
積立金	4億3,972万円
投資及び出資金	5,168万円
繰出金	6億7,377万円
計	66億2,593万円

用語解説

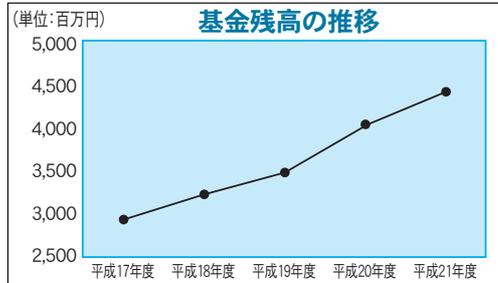
扶助費は生活保護費・福祉医療費・児童扶養手当など。公債費は借金を返済するお金。物件費は消耗品・光熱費など。繰出金は、ほかの会計に支出するお金です。

基金(貯金)の状況

和水町の全会計の基金(貯金)の残高は44億7,231万円となっています。町民一人当たり換算(平成22年3月31日現在 人口11,708人で計算)すると

一人当たり **381,988円** (単位:千円)

一般会計	金額
財政調整基金	916,994
減債基金	504,419
公共施設整備基金	1,890,530
社会福祉振興基金	203,147
その他の基金	28,924
土地開発基金(定額運用基金)	124,125
計	3,668,139
国民健康保険事業会計	206,857
介護保険事業会計	9,506
特別養護老人ホーム事業会計	587,807
合計	4,472,309

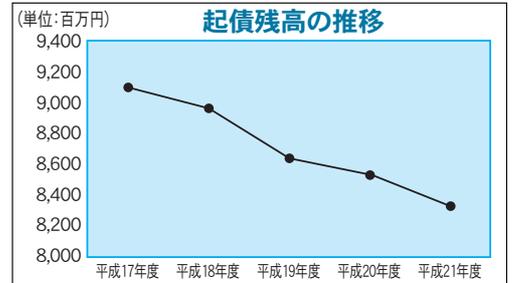


起債(借金)の状況

和水町の全会計の起債(借金)の残高は83億4,157万円となっています。町民一人当たり換算(平成22年3月31日現在 人口11,708人で計算)すると

一人当たり **712,468円** (単位:千円)

一般会計	金額
過疎対策事業債	2,818,886
臨時財政対策債	2,361,865
合併特例債	102,400
その他の起債	1,181,185
計	6,464,336
町立病院事業会計	762,412
簡易水道事業会計	237,582
下水道事業会計	689,611
特定地域生活排水処理事業会計	187,627
合計	8,341,568



歳出・歳入決算額の推移

歳出

年度	人件費	扶助費	投資的経費	補助費等	公債費	その他	合計
平成17年度							72億3,082万円
平成18年度							56億7,676万円
平成19年度							56億5,329万円
平成20年度							62億2,421万円
平成21年度							66億2,593万円

歳入

年度	町税	地方交付税等	国庫・県支出金	町債(借金)	その他	合計
平成17年度						75億7,905万円
平成18年度						60億1,815万円
平成19年度						60億5,352万円
平成20年度						65億4,023万円
平成21年度						70億8,879万円